

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年2月6日

【四半期会計期間】 第19期第3四半期(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

【会社名】 アステラス製薬株式会社

【英訳名】 Astellas Pharma Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岡村 直樹

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本町二丁目5番1号

【電話番号】 03(3244)3000

【事務連絡者氏名】 コーポレートアカウントティング・グローバルビジネスサービス
コーポレートアカウントティング グループリーダー 藤田 康博

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町二丁目5番1号

【電話番号】 03(3244)3000

【事務連絡者氏名】 コーポレートアカウントティング・グローバルビジネスサービス
コーポレートアカウントティング グループリーダー 藤田 康博

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第18期 第3四半期 連結累計期間	第19期 第3四半期 連結累計期間	第18期
会計期間		自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日
売上収益 (第3四半期連結会計期間)	(百万円)	1,164,365 (402,180)	1,189,070 (421,932)	1,518,619
税引前四半期利益 又は税引前利益	(百万円)	180,238	73,630	132,361
四半期(当期)利益 (親会社の所有者に帰属) (第3四半期連結会計期間)	(百万円)	144,839 (48,405)	50,323 (14,513)	98,714
四半期(当期)包括利益 (親会社の所有者に帰属)	(百万円)	218,550	113,936	205,277
親会社の所有者に帰属する持分	(百万円)	1,570,424	1,503,255	1,507,954
資産合計	(百万円)	2,513,948	3,368,682	2,456,518
基本的1株当たり 四半期(当期)利益 (親会社の所有者に帰属) (第3四半期連結会計期間)	(円)	79.43 (26.56)	28.06 (8.09)	54.24
希薄化後1株当たり 四半期(当期)利益 (親会社の所有者に帰属)	(円)	79.40	27.96	54.09
親会社所有者帰属持分比率	(%)	62.5	44.6	61.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	212,174	100,496	327,767
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	61,781	823,644	84,500
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	91,120	583,131	195,623
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	381,816	253,978	376,840

(注) 1. 当社は要約四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 上記指標は、国際会計基準(以下「IFRS」)により作成された要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表に基づいています。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は次のとおりです。

第2四半期連結会計期間において、株式取得による子会社化に伴い、IVERIC bio, Inc.を連結の範囲に含めていません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績等の状況の概要

当第3四半期連結累計期間における当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の概要は次のとおりです。

財政状態及び経営成績の状況

[財政状態]

当第3四半期連結会計期間末の要約四半期連結財政状態計算書の概要及び前連結会計年度末からの主な変動は以下のとおりです。

2023年7月にIveric Bio社を買収して当社の連結子会社にしたことに加え、同社の買収資金に充当するために銀行借入れや、社債及びコマーシャル・ペーパーの発行による資金調達を行ったことに伴い、資産、負債に大きな変動がありました。

総資産は3兆3,687億円（前連結会計年度末比9,122億円増）となりました。

非流動資産は、2兆3,186億円（同9,120億円増）となりました。有形固定資産は2,890億円（同26億円増）となりました。主に2023年7月にIveric Bio社を買収したことに伴い、のれんは3,880億円（同596億円増）、無形資産は1兆4,523億円（同8,898億円増）となりました。

流動資産は、1兆501億円（同1億円増）となりました。現金及び現金同等物は2,540億円（同1,229億円減）となりました。

資本合計は、1兆5,033億円（同47億円減）となり、親会社所有者帰属持分比率は44.6%となりました。四半期利益503億円を計上した一方で、剰余金の配当1,167億円を実施しました。

負債合計は、1兆8,654億円（同9,169億円増）となりました。

非流動負債は、7,117億円（同4,892億円増）となりました。第2四半期連結会計期間にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行い、当第3四半期連結会計期間末の残高は社債2,500億円（同2,000億円増）、長期借入金2,138億円となりました。主にIveric Bio社の買収に伴い、繰延税金負債が640億円増加しました。

流動負債は、1兆1,537億円（同4,277億円増）となりました。第2四半期連結会計期間にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行い、当第3四半期連結会計期間末の残高はコマーシャル・ペーパー3,570億円（同2,820億円増）、1年以内返済予定の長期借入金502億円となりました。その他の流動負債は4,468億円（同641億円増）となりました。

[経営成績]

<連結業績（コアベース）>

当第3四半期連結累計期間の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。売上収益は増加した一方、コア営業利益及びコア四半期利益は減少しました。

[連結業績（コアベース）]

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
売上収益	1,164,365	1,189,070	24,705 (2.1%)
売上原価	226,073	219,256	6,817 (3.0%)
販売費及び一般管理費	470,977	546,961	75,984 (16.1%)
研究開発費	206,052	216,334	10,282 (5.0%)
無形資産償却費	29,174	66,173	36,999 (126.8%)
無形資産譲渡益	208	9,735	9,528 (-)
持分法による投資損益	1,371	461	1,832 (-)
コア営業利益	233,668	149,620	84,048 (36.0%)
コア四半期利益	188,922	120,505	68,417 (36.2%)
基本的1株当たりコア四半期利益(円)	103.61	67.20	36.41 (35.1%)

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。また、基本的1株当たりコア四半期利益は、コア四半期利益をその期間の自己株式を調整した発行済普通株式の加重平均株式数で除して算定しています。

売上収益

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI、尿路上皮がん治療剤パドセブ、急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタの売上が順調に拡大しました。特に、パドセブは米国及び欧州で売上が大きく伸長しました。
- ・ 第2四半期連結会計期間に米国で発売となった地固状萎縮を伴う加齢黄斑変性治療剤IZERVAYの売上也順調に伸び、増収に寄与しました。
- ・ 一方で、米国にて発売している心機能検査補助剤レキスキャンの売上が、引き続き後発品の影響により大幅に減少しました（米ドルベースで前年同四半期連結累計期間比89.3%減）。

以上の結果、売上収益は、1兆1,891億円（前年同四半期連結累計期間比2.1%増）となりました。

コア営業利益 / コア四半期利益

- ・売上総利益は、9,698億円（同3.4%増）となりました。売上原価率は、前年同四半期連結累計期間に比べ1.0ポイント低下し、18.4%となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、5,470億円（同16.1%増）となりました。成熟製品における費用の削減（同約60億円減）があった一方で、為替の影響（同261億円増）や閉経に伴う血管運動神経症状治療剤VEOZAHに関連する費用の増加（同約300億円増）、さらにIveric Bio社の買収による影響（約200億円）により、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、4,007億円（同20.4%増）となりました。
- ・研究開発費は、2,163億円（同5.0%増）となりました。主に、為替の影響（同69億円増）やIveric Bio社の買収による影響（約80億円）により、総額として増加しました。
- ・無形資産償却費は、662億円（同126.8%増）となりました。Iveric Bio社の買収で獲得したIZERVAYの無形資産償却費が増加の主な要因となりました。

以上の結果、コア営業利益は1,496億円（同36.0%減）、コア四半期利益は1,205億円（同36.2%減）となりました。

<連結業績（フルベース）>

当第3四半期連結累計期間の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。売上収益は増加した一方、営業利益及び四半期利益は減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれません。当第3四半期連結累計期間における「その他の収益」は85億円（前年同四半期連結累計期間：25億円）、「その他の費用」は840億円（同：549億円）となりました。「その他の費用」として、第2四半期連結会計期間において、Iveric Bio社の買収に伴う権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払（331億円）（注）を計上したことに加え、当第3四半期連結累計期間において、グローバルでの組織改革に伴う一時費用（184億円）を計上しました。

（注）当第3四半期連結会計期間において、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、当該株式報酬に係る支払を遡及修正しています。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
売上収益	1,164,365	1,189,070	24,705 (2.1%)
営業利益	181,279	74,119	107,160 (59.1%)
税引前四半期利益	180,238	73,630	106,608 (59.1%)
四半期利益	144,839	50,323	94,516 (65.3%)
基本的1株当たり四半期利益（円）	79.43	28.06	51.37 (64.7%)
四半期包括利益	218,550	113,936	104,614 (47.9%)

主要製品の売上

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
XTANDI	5,119	5,600	9.4%
パドセブ	331	556	68.1%
ゾスパタ	363	413	13.8%
VEOZAH (注) 1	-	36	-
IZERVAY	-	53	-
ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ	1,410	1,429	1.3%
プログラフ (注) 2	1,516	1,554	2.5%

(注) 1. VEOZAH：欧州ではVEOZAの製品名で承認取得
 2. プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

<XTANDI>

- ・全ての地域で売上が拡大しました。
- ・米国において、2023年11月に「生化学的再発のリスクが高いIM0 CSPC（非転移性去勢感受性前立腺がん）」の適応追加に関する承認を取得しました。

<パドセブ>

- ・発売している全ての地域で売上が拡大しました。
- ・米国において、2023年12月に「局所進行性または転移性尿路上皮がん患者を対象とした一次治療としてのペムプロリズマブ併用療法」の適応追加に関する承認を取得しました。

<ゾスパタ>

- ・為替のポジティブな影響もあり、全ての地域で売上が拡大しました。

<VEOZAH>

- ・発売以降売上は拡大しているものの、当初の想定を下回りました。
- ・欧州では、2023年12月に承認を取得しました。

<IZERVAY>

- ・2023年9月の発売以降、売上は順調に拡大しました。

<ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ>

- ・為替のポジティブな影響もあり、グローバルの売上は拡大しました。

<プログラフ>

- ・為替のポジティブな影響もあり、グローバルの売上は拡大しました。

地域別売上収益の状況

地域別の売上収益は下表のとおりです。米国は減少した一方、日本、エスタブリッシュドマーケット、グレートチャイナ及びインターナショナルマーケットは増加しました。

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
日本	2,045	2,110	3.2%
米国	5,011	4,814	3.9%
エスタブリッシュドマーケット	2,722	3,063	12.5%
グレートチャイナ	652	673	3.3%
インターナショナルマーケット	1,042	1,188	14.0%

(注) 第1四半期連結会計期間から、インターナショナルマーケットに含まれていた一部の国のコマーシャル区分をエスタブリッシュドマーケットに変更しています。なお、前第3四半期連結累計期間の金額は当該変更を反映しています。

エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ 等

グレートチャイナ：中国、香港、台湾

インターナショナルマーケット：中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、ロシア、韓国、オーストラリア、輸出売上 等

[セグメント情報]

当社グループは、医薬品事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しています。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,005億円（前年同四半期連結累計期間比1,117億円減）となりました。Iveric Bio社の買収に伴う権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払331億円（注）がありました。法人所得税の支払額は226億円（同356億円減）となりました。

(注) 当第3四半期連結会計期間において、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、当該株式報酬に係る支払を遡及修正しています。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、8,236億円（同7,619億円支出増）となりました。Iveric Bio社等の買収に伴い、子会社の取得による支出が7,848億円（同7,848億円増）となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,831億円（前年同四半期連結累計期間は911億円の支出）となりました。第2四半期連結会計期間にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行ったことに伴い、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーは2,632億円の増加（前年同四半期連結累計期間は150億円の減少）、社債の発行及び長期借入れによる収入が4,716億円（前年同四半期連結累計期間比4,216億円増）ありました。自己株式の取得による支出107億円（前年同四半期連結累計期間比2億円支出増）がありました。また、配当金の支払額は1,167億円（同163億円増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、2,540億円（前連結会計年度末比1,229億円減）となりました。

(2) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は2,163億円（前年同四半期連結累計期間比5.0%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、以下の技術導出契約を終了しました。

契約会社名	相手先	国名	技術の種類	対価	契約期間
アステラス ファーマ ヨーロッパ Ltd.	Boehringer Ingelheim International GmbH	ドイツ	塩酸タムスロシン OCAS製剤に関する技 術	なし	2005年4月～2019年6月まで (その後最長2023年12月まで1 年毎自動更新)(欧州等)
当社及びア ステラス ファーマ ヨーロッパ Ltd.				一定率のロイヤ ルティ	2006年4月～発売後10年間又 は特許期間満了日まで(カナ ダ等)
				一定率のロイヤ ルティ	2007年3月～発売後10年間又 は特許期間満了日まで(メキ シコ等)
				なし	2007年5月～発売後10年間又 は特許期間満了日まで(南米)

(注) 南米における契約のうち、アルゼンチンについては、2024年12月まで契約は存続しています。

当第3四半期連結会計期間において、当社は、米国のバイオ医薬品企業であるPropella Therapeutics, Inc.との間で、同社を買収することで合意し、2023年11月に契約を締結しました。この契約に基づき、米国東部時間 2023年12月21日に同社の買収が完了し、同社を当社の完全子会社としました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	9,000,000,000
計	9,000,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数 (株) (2023年12月31日)	提出日現在 発行数 (株) (2024年2月6日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	1,809,663,075	1,809,663,075	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数 100株
計	1,809,663,075	1,809,663,075		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2023年10月1日～ 2023年12月31日		1,809,663		103,001		176,822

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2023年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

2023年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 731,000		単元株式数100株
完全議決権株式（その他）	普通株式 1,807,799,200	18,077,992	同上
単元未満株式	普通株式 1,132,875		1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	1,809,663,075		
総株主の議決権		18,077,992	

- (注) 1. 「完全議決権株式（自己株式等）」欄は、全て当社所有の自己株式です。
 2. 「完全議決権株式（その他）」欄には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の所有する当社株式16,065,000株（議決権の数160,650個）及び証券保管振替機構名義の株式5,000株（議決権の数50個）が含まれています。
 3. 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式83株、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の所有する当社株式459株及び証券保管振替機構名義の株式50株が含まれています。

【自己株式等】

2023年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合 (%)
アステラス製薬株式会社	東京都中央区日本橋本町 二丁目5番1号	731,000		731,000	0.04
計		731,000		731,000	0.04

(注) 上記には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の所有する当社株式は含まれていません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）に係る要約四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1 【要約四半期連結財務諸表】

(1) 【要約四半期連結純損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	5	1,164,365	1,189,070
売上原価		226,073	219,256
売上総利益		938,293	969,814
販売費及び一般管理費		470,977	546,961
研究開発費		206,052	216,334
無形資産償却費		29,174	66,173
無形資産譲渡益		208	9,735
持分法による投資損益		1,371	461
その他の収益		2,517	8,471
その他の費用	6	54,906	83,972
営業利益		181,279	74,119
金融収益		5,666	7,331
金融費用		6,707	7,819
税引前四半期利益		180,238	73,630
法人所得税費用		35,399	23,308
四半期利益		144,839	50,323
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		144,839	50,323
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	7	79.43	28.06
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	7	79.40	27.96

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	402,180	421,932
売上原価	74,422	75,897
売上総利益	327,759	346,035
販売費及び一般管理費	163,022	199,499
研究開発費	66,875	74,387
無形資産償却費	9,207	32,440
無形資産譲渡益	36	318
持分法による投資損失	407	223
その他の収益	1,086	2,570
その他の費用	27,982	23,411
営業利益	61,388	18,963
金融収益	1,173	1,180
金融費用	2,803	2,830
税引前四半期利益	59,758	17,313
法人所得税費用	11,353	2,800
四半期利益	48,405	14,513
四半期利益の帰属 親会社の所有者	48,405	14,513
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	7	8.09
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	7	8.06

(2) 【要約四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	144,839	50,323
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	4,411	5,003
確定給付制度の再測定	917	471
小計	5,328	4,532
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	68,384	73,729
キャッシュ・フロー・ヘッジ	-	7,682
ヘッジコスト	-	2,098
小計	68,384	68,146
その他の包括利益	73,711	63,614
四半期包括利益合計	218,550	113,936
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	218,550	113,936

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	48,405	14,513
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	1,227	701
確定給付制度の再測定	458	1,729
小計	769	2,430
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	74,331	90,820
小計	74,331	90,820
その他の包括利益	73,561	93,250
四半期包括利益合計	25,157	78,738
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	25,157	78,738

(3) 【要約四半期連結財政状態計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	286,459	289,029
のれん	328,411	387,969
無形資産	562,496	1,452,341
売上債権及びその他の債権	24,173	20,819
持分法で会計処理されている投資	12,689	15,636
繰延税金資産	84,169	42,621
その他の金融資産	97,886	101,572
その他の非流動資産	10,280	8,593
非流動資産合計	1,406,564	2,318,580
流動資産		
棚卸資産	174,386	225,980
売上債権及びその他の債権	427,965	495,961
未収法人所得税	17,813	9,944
その他の金融資産	19,784	31,458
その他の流動資産	32,428	31,594
現金及び現金同等物	376,840	253,978
小計	1,049,216	1,048,915
売却目的で保有する資産	738	1,186
流動資産合計	1,049,954	1,050,102
資産合計	2,456,518	3,368,682

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資本及び負債			
資本			
資本金		103,001	103,001
資本剰余金		181,280	182,983
自己株式		25,123	34,147
利益剰余金		908,158	838,621
その他の資本の構成要素		340,640	412,797
親会社の所有者に帰属する持分合計		1,507,954	1,503,255
資本合計		1,507,954	1,503,255
負債			
非流動負債			
社債及び借入金	9	50,000	463,804
仕入債務及びその他の債務		4,217	2,150
繰延税金負債		6,048	70,013
退職給付に係る負債		24,818	26,530
引当金		6,537	5,401
その他の金融負債		89,924	99,669
その他の非流動負債		40,987	44,146
非流動負債合計		222,530	711,712
流動負債			
社債及び借入金	9	75,000	407,177
仕入債務及びその他の債務		140,236	150,426
未払法人所得税		5,137	34,822
引当金		17,855	13,830
その他の金融負債		105,131	100,648
その他の流動負債		382,675	446,813
流動負債合計		726,034	1,153,715
負債合計		948,564	1,865,427
資本及び負債合計		2,456,518	3,368,682

(4) 【要約四半期連結持分変動計算書】

(単位：百万円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分					
		資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
						新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2022年4月1日残高		103,001	179,467	13,934	944,261	630	233,621
四半期包括利益							
四半期利益		-	-	-	144,839	-	-
その他の包括利益		-	-	-	-	-	68,384
四半期包括利益合計		-	-	-	144,839	-	68,384
所有者との取引額							
自己株式の取得		-	-	10,555	-	-	-
自己株式の処分		-	1,351	1,468	86	29	-
配当金	8	-	-	-	100,355	-	-
株式報酬取引		-	2,475	-	-	-	-
利益剰余金への振替		-	-	-	7,587	-	-
所有者との取引額合計		-	1,123	9,087	92,854	29	-
2022年12月31日残高		103,001	180,591	23,020	996,246	601	302,005

2023年4月1日残高		103,001	181,280	25,123	908,158	536	324,276
四半期包括利益							
四半期利益		-	-	-	50,323	-	-
その他の包括利益		-	-	-	-	-	73,729
四半期包括利益合計		-	-	-	50,323	-	73,729
所有者との取引額							
自己株式の取得		-	-	10,734	-	-	-
自己株式の処分		-	1,452	1,710	174	73	-
配当金	8	-	-	-	116,653	-	-
株式報酬取引		-	3,156	-	-	-	-
利益剰余金への振替		-	-	-	3,033	-	-
非金融資産への振替		-	-	-	-	-	-
所有者との取引額合計		-	1,704	9,023	119,860	73	-
2023年12月31日残高		103,001	182,983	34,147	838,621	464	398,006

(単位：百万円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
		その他の資本の構成要素						
		キャップ シュ・フ ロー・ヘッ ジ	ヘッジ コスト	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定	合計		
2022年4月1日残高		-	-	13,261	-	247,512	1,460,308	1,460,308
四半期包括利益								
四半期利益		-	-	-	-	-	144,839	144,839
その他の包括利益		-	-	4,411	917	73,711	73,711	73,711
四半期包括利益合計		-	-	4,411	917	73,711	218,550	218,550
所有者との取引額								
自己株式の取得		-	-	-	-	-	10,555	10,555
自己株式の処分		-	-	-	-	29	2	2
配当金	8	-	-	-	-	-	100,355	100,355
株式報酬取引		-	-	-	-	-	2,475	2,475
利益剰余金への振替		-	-	6,670	917	7,587	-	-
所有者との取引額合計		-	-	6,670	917	7,616	108,434	108,434
2022年12月31日残高		-	-	11,002	-	313,607	1,570,424	1,570,424

2023年4月1日残高		-	-	15,827	-	340,640	1,507,954	1,507,954
四半期包括利益								
四半期利益		-	-	-	-	-	50,323	50,323
その他の包括利益		7,682	2,098	5,003	471	63,614	63,614	63,614
四半期包括利益合計		7,682	2,098	5,003	471	63,614	113,936	113,936
所有者との取引額								
自己株式の取得		-	-	-	-	-	10,734	10,734
自己株式の処分		-	-	-	-	73	12	12
配当金	8	-	-	-	-	-	116,653	116,653
株式報酬取引		-	-	-	-	-	3,156	3,156
利益剰余金への振替		-	-	3,504	471	3,033	-	-
非金融資産への振替		7,682	2,098	-	-	5,584	5,584	5,584
所有者との取引額合計		7,682	2,098	3,504	471	8,544	118,635	118,635
2023年12月31日残高		-	-	14,328	-	412,797	1,503,255	1,503,255

(5) 【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益		180,238	73,630
減価償却費及び無形資産償却費		82,721	109,197
減損損失(又は戻入れ)		24,237	13,776
金融収益及び金融費用		1,040	488
棚卸資産の増減額		2,648	44,612
売上債権及びその他の債権の増減額		38,716	31,910
仕入債務及びその他の債務の増減額		15,565	14,025
その他		33,731	16,536
小計		270,335	123,081
法人所得税の支払額		58,160	22,585
営業活動によるキャッシュ・フロー		212,174	100,496
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		25,193	27,527
無形資産の取得による支出		35,229	35,046
無形資産の売却による収入		208	11,003
資本性金融商品の売却による収入		12,168	-
子会社の取得による支出	11	-	784,784
利息及び配当金の受取額		2,084	6,275
その他		15,819	6,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		61,781	823,644
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額		15,000	263,169
社債の発行及び長期借入れによる収入		50,000	471,615
社債の償還及び長期借入金の返済による支出		-	6,667
自己株式の取得による支出		10,555	10,734
親会社の所有者への配当金の支払額	8	100,355	116,653
リース負債の返済による支出		12,933	9,956
その他		2,276	7,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		91,120	583,131
現金及び現金同等物の為替変動による影響		6,557	17,156
現金及び現金同等物の増減額		65,830	122,862
現金及び現金同等物の期首残高		315,986	376,840
現金及び現金同等物の四半期末残高		381,816	253,978

【要約四半期連結財務諸表注記】

1. 報告企業

アステラス製薬株式会社及び連結子会社（以下「当社グループ」）は、医薬品事業を展開しています。当社グループの親会社であるアステラス製薬株式会社（以下「当社」）は、日本に所在する企業であり、登記されている本社及び主要な事業所の住所は、ホームページ（<https://www.astellas.com/jp/>）で開示しています。また、株式は東京証券取引所（プライム市場）に上場しています。

本要約四半期連結財務諸表は、2024年2月6日に最高経営責任者である代表取締役社長 岡村 直樹及び最高財務責任者である専務担当役員 財務担当 北村 淳によって承認されています。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

当社グループは、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しています。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2023年3月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定する金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

(3) 表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、特に注釈のない限り、百万円単位での四捨五入により表示しています。

(4) 表示方法の変更

要約四半期連結財政状態計算書

前連結会計年度において非流動負債及び流動負債の「その他の金融負債」に含めていた「社債及び借入金」は、金額的重要性が増したため、第1四半期連結会計期間から独立掲記しています。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財政状態計算書の組替えを行っています。

この結果、前連結会計年度の連結財政状態計算書において、非流動負債及び流動負債の「その他の金融負債」に含めて表示していた50,000百万円及び75,000百万円は、非流動負債及び流動負債の「社債及び借入金」として組み替えています。

3. 重要性がある会計方針

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しています。

4. 重要な会計上の見積り、判断及び仮定

要約四半期連結財務諸表の作成に当たり、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り、判断及び仮定の設定を行っています。

会計上の見積りの結果は、その性質上、実際の結果とは異なる可能性があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直され、会計上の見積りの見直しによる影響は、その見積りを見直した会計期間と将来の会計期間において認識されます。

本要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り、判断及び仮定の設定は、原則として前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様です。

5. 売上収益

売上収益の内訳は次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	米国	エスタブリッシュドマーケット	グレーターチャイナ	インターナショナルマーケット	その他	合計
医薬品の販売							
XTANDI	42,268	269,180	149,993	9,828	40,596	-	511,864
プログラフ	28,073	8,220	53,315	37,222	24,801	-	151,631
ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ	26,353	70,435	32,318	3,055	8,881	-	141,041
その他	106,945	131,280	36,578	15,047	28,838	2,201	320,889
小計	203,638	479,115	272,204	65,152	103,115	2,201	1,125,425
ロイヤルティ収入	882	-	-	-	1,054	14,659	16,594
その他	-	21,983	-	-	-	363	22,346
合計	204,520	501,097	272,204	65,152	104,168	17,223	1,164,365

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	米国	エスタブリッシュドマーケット	グレーターチャイナ	インターナショナルマーケット	その他	合計
医薬品の販売							
XTANDI	44,099	284,937	171,374	13,497	46,056	-	559,964
プログラフ	23,506	7,649	55,080	36,772	32,348	-	155,354
ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ	21,401	70,350	37,437	2,833	10,845	-	142,865
その他	121,371	79,468	42,449	14,228	28,535	82	285,968
小計	210,376	442,403	306,340	67,329	117,784	82	1,144,151
ロイヤルティ収入	672	-	-	-	1,003	3,962	5,637
その他	-	38,973	2	-	-	308	39,282
合計	211,049	481,376	306,342	67,329	118,786	4,188	1,189,070

- (注) 1. 売上収益は、コマーシャル部門における経営管理上の組織区分を基礎として分類しています。
 2. 第1四半期連結会計期間から、インターナショナルマーケットに含まれていた一部の国のコマーシャル区分をエスタブリッシュドマーケットに変更しています。なお、前第3四半期連結累計期間の金額は当該変更を反映しています。

エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ等

グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

インターナショナルマーケット：中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、ロシア、韓国、オーストラリア、輸出売上等

6. その他の費用

前第3四半期連結累計期間に「その他の費用」として認識されたもののうち、主なものは以下のとおりです。

無形資産の減損損失

仕掛中の研究開発であるAT702、AT751、AT753の研究開発中止等により、23,759百万円の減損損失を認識しました。

条件付対価に係る公正価値変動額

fezolinetantの開発の進捗に係る条件付対価の公正価値の変動等に伴い18,957百万円の費用を認識しました。条件付対価の概要については、注記「9. 金融商品」をご参照ください。

当第3四半期連結累計期間に「その他の費用」として認識されたもののうち、主なものは以下のとおりです。

有形固定資産の減損損失

メッペル工場（オランダ）の事業譲渡合意等に伴い18,229百万円の減損損失を認識しました。

条件付対価に係る公正価値変動額

ゾルベツキシマブの開発の進捗に係る条件付対価の公正価値の変動等に伴い16,695百万円の費用を認識しました。条件付対価の概要については、注記「9. 金融商品」をご参照ください。

企業結合に伴う代替報酬

IVERIC bio, Inc.の買収に伴い権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,128百万円を費用として認識しました。企業結合の概要については、注記「11. 企業結合」をご参照ください。

リストラクチャリング費用

グローバルでの組織改革に伴い、18,400百万円のリストラクチャリング費用を認識しました。

7. 1 株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	144,839	50,323
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益(百万円)	-	-
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	144,839	50,323
加重平均普通株式数(千株)	1,823,463	1,793,344
希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	144,839	50,323
四半期利益調整額(百万円)	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	144,839	50,323
加重平均普通株式数(千株)	1,823,463	1,793,344
希薄化性潜在的普通株式の影響(千株)	771	6,318
希薄化効果調整後加重平均普通株式数(千株)	1,824,235	1,799,662
1株当たり四半期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	79.43	28.06
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	79.40	27.96

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	48,405	14,513
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益(百万円)	-	-
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	48,405	14,513
加重平均普通株式数(千株)	1,822,731	1,792,961
希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	48,405	14,513
四半期利益調整額(百万円)	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	48,405	14,513
加重平均普通株式数(千株)	1,822,731	1,792,961
希薄化性潜在的普通株式の影響(千株)	756	7,254
希薄化効果調整後加重平均普通株式数(千株)	1,823,488	1,800,215
1株当たり四半期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	26.56	8.09
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	26.55	8.06

8. 配当金

配当金の支払額は次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年4月27日 取締役会	普通株式	45,873	25.00	2022年3月31日	2022年6月1日
2022年10月31日 取締役会	普通株式	55,049	30.00	2022年9月30日	2022年12月1日

- (注) 1. 2022年4月27日取締役会決議による配当金の総額には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の所有する当社株式に対する配当金197百万円が含まれています。
2. 2022年10月31日取締役会決議による配当金の総額には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の所有する当社株式に対する配当金370百万円が含まれています。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年4月27日 取締役会	普通株式	54,266	30.00	2023年3月31日	2023年6月1日
2023年11月1日 取締役会	普通株式	63,313	35.00	2023年9月30日	2023年12月1日

- (注) 1. 2023年4月27日取締役会決議による配当金の総額には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の所有する当社株式に対する配当金363百万円が含まれています。
2. 2023年11月1日取締役会決議による配当金の総額には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の所有する当社株式に対する配当金562百万円が含まれています。

9. 金融商品

(1) 経常的に公正価値で測定される金融商品

金融商品の公正価値ヒエラルキーは、次のように区分しています。

レベル1：同一の資産又は負債に関する活発な市場における無調整の相場価格により測定した公正価値

レベル2：レベル1以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを使用して測定した公正価値

レベル3：重大な観察可能でないインプットを使用して測定した公正価値

公正価値の測定に使用される公正価値ヒエラルキーのレベルは、公正価値の測定に用いた重大なインプットのうち、最もレベルの低いインプットに応じて決定しています。

公正価値ヒエラルキーのレベル間の振替は、各四半期末日に発生したものと認識しています。

公正価値ヒエラルキーの各レベルに分類された、経常的に公正価値で測定される金融資産及び金融負債の内訳は次のとおりです。

前連結会計年度（2023年3月31日）

（単位：百万円）

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融資産				
FVTPLの金融資産				
保険積立金	-	18,808	-	18,808
為替予約取引	-	106	-	106
出資金	-	-	28,769	28,769
小計	-	18,914	28,769	47,683
FVTOCIの金融資産（資本性）				
上場株式	13,495	-	-	13,495
非上場株式	-	-	28,194	28,194
小計	13,495	-	28,194	41,690
金融資産合計	13,495	18,914	56,963	89,372
金融負債				
FVTPLの金融負債				
為替予約取引	-	55	-	55
条件付対価	-	-	118,688	118,688
小計	-	55	118,688	118,743
金融負債合計	-	55	118,688	118,743

（注）FVTPLの金融資産、FVTOCIの金融資産（資本性）及びFVTPLの金融負債は、それぞれ要約四半期連結財政状態計算書の「その他の金融資産」及び「その他の金融負債」に含まれています。

当第3四半期連結会計期間(2023年12月31日)

(単位:百万円)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融資産				
FVTPLの金融資産				
保険積立金	-	23,236	-	23,236
為替予約取引	-	5,071	-	5,071
出資金	-	-	31,835	31,835
小計	-	28,306	31,835	60,142
FVTOCIの金融資産(資本性)				
上場株式	6,800	-	-	6,800
非上場株式	-	-	31,876	31,876
小計	6,800	-	31,876	38,676
ヘッジ会計を適用しているデリバティブ				
金利スワップ	-	32	-	32
小計	-	32	-	32
金融資産合計	6,800	28,338	63,711	98,849
金融負債				
FVTPLの金融負債				
為替予約取引	-	7,035	-	7,035
条件付対価	-	-	104,274	104,274
小計	-	7,035	104,274	111,309
金融負債合計	-	7,035	104,274	111,309

(注) FVTPLの金融資産、FVTOCIの金融資産(資本性)、ヘッジ会計を適用しているデリバティブ及びFVTPLの金融負債は、それぞれ要約四半期連結財政状態計算書の「その他の金融資産」及び「その他の金融負債」に含まれています。

レベル3に分類されている金融商品の公正価値の変動は次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(a) 金融資産

(単位:百万円)

	FVTPLの金融資産	FVTOCIの金融資産 (資本性)	合計
2022年4月1日残高	25,441	19,173	44,615
実現及び未実現損益			
純損益に計上(注)	4,186	-	4,186
その他の包括利益に計上	-	600	600
購入、発行、売却、決済			
購入	6,621	2,115	8,735
その他	105	668	772
2022年12月31日残高	27,981	22,556	50,536
報告期間末に保有している資産について純損益に 計上された当四半期の未実現損益の変動(注)	4,186	-	4,186

(注) 要約四半期連結純損益計算書の「金融収益」及び「金融費用」に含まれています。

(b) 金融負債

(単位:百万円)

	FVTPLの金融負債
2022年4月1日残高	66,569
実現及び未実現損益	
純損益に計上(注)	17,468
その他	1,067
2022年12月31日残高	85,104
報告期間末に保有している負債について純損益に 計上された当四半期の未実現損益の変動(注)	17,468

(注) 要約四半期連結純損益計算書の「その他の収益」及び「その他の費用」に含まれています。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(a) 金融資産

(単位：百万円)

	FVTPLの金融資産	FVTOCIの金融資産 (資本性)	合計
2023年4月1日残高	28,769	28,194	56,963
実現及び未実現損益			
純損益に計上(注)	1,251	-	1,251
その他の包括利益に計上	-	675	675
購入、発行、売却、決済			
購入	4,666	1,911	6,576
売却又は決済	944	-	944
その他	596	1,097	1,693
2023年12月31日残高	31,835	31,876	63,711
報告期間末に保有している資産について純損益に計上された当四半期の未実現損益の変動(注)	1,251	-	1,251

(注) 要約四半期連結純損益計算書の「金融収益」及び「金融費用」に含まれています。

(b) 金融負債

(単位：百万円)

	FVTPLの金融負債
2023年4月1日残高	118,688
実現及び未実現損益	
純損益に計上(注)	14,120
決済	29,444
その他	910
2023年12月31日残高	104,274
報告期間末に保有している負債について純損益に計上された当四半期の未実現損益の変動(注)	11,932

(注) 要約四半期連結純損益計算書の「その他の収益」及び「その他の費用」に含まれています。

レベル2に分類されている金融資産は、保険積立金及びデリバティブにより構成されています。

米国子会社が採用している繰延報酬制度の支払いに備え、当社グループは保険積立金を保有しています。保険積立金の公正価値は、取引保険会社から提示された解約払戻金に基づいて算定しています。

デリバティブの公正価値は、取引金融機関から提示された価格に基づいて算定しています。

レベル3に分類されている金融資産は、ファンドへの出資及び非上場株式により構成されています。

出資金の公正価値は、直近の入手可能な情報に基づきファンドの公正価値を見積もった上で、それに対する持分に基づいて算定しています。

非上場株式の公正価値は、直近の入手可能な投資先の純資産又は将来の収益性の見通し等に基づき算定していません。

出資金及び非上場株式の公正価値は、四半期ごとに当社及びグループ各社の担当部門がグループ会計方針等に従って測定し、公正価値の変動の根拠と併せて上位者に報告されています。

レベル2に分類されている金融負債は、デリバティブにより構成されています。デリバティブの公正価値は、取引金融機関から提示された価格に基づいて算定しています。

レベル3に分類されている金融負債は、企業結合により生じた条件付対価です。

条件付対価は、被取得企業が保有していた臨床開発プログラムの開発の進捗等に応じて支払うマイルストーンであり、その公正価値は、新薬開発の難易度等と関連したプログラムが成功する可能性や貨幣の時間的価値等を考慮して見積もっています。これらのお見積りには不確実性を伴うため、重大な観察可能でないインプットであるプログラムが成功する可能性が高くなった場合、公正価値は増加する等の影響があります。

レベル3に分類されている金融商品について、観察可能でないインプットを合理的に考え得る代替的な仮定に変更した場合に重要な公正価値の変動は見込まれていません。

(2) 償却原価で測定する金融商品

前連結会計年度及び当第3四半期連結会計期間において、償却原価で測定する金融商品の帳簿価額は公正価値に近似しています。

(3) 社債及び借入金

発行した社債は、次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

会社名	銘柄	発行年月日	発行額 (百万円)	利率 (%)	償還期限
当社	第1回無担保社債	2022年12月5日	30,000	0.260	2025年12月5日
当社	第2回無担保社債	2022年12月5日	20,000	0.419	2027年12月3日

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

会社名	銘柄	発行年月日	発行額 (百万円)	利率 (%)	償還期限
当社	第3回無担保社債	2023年8月31日	100,000	0.320	2026年8月31日
当社	第4回無担保社債	2023年8月31日	100,000	0.519	2028年8月31日

社債及び借入金の内訳は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
社債	50,000	250,000
長期借入金	-	213,804
コマーシャル・ペーパー	75,000	357,000
1年以内返済予定の長期借入金	-	50,177
社債及び借入金合計	125,000	870,981

(注) IVERIC bio, Inc. 買収の支払資金に充当するために資金調達を行った結果、残高が増加しています。

10. 偶発負債

前連結会計年度の連結財務諸表に記載した内容から重要な変更はありません。

11. 企業結合

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

IVERIC bio, Inc. の取得

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	IVERIC bio, Inc. (以下「Iveric Bio社」)
事業の内容	医薬品の研究開発

取得日

米国東部時間 2023年7月11日

取得した議決権付資本持分の割合

100%

被取得企業の支配の獲得方法

現金を支払対価とする株式取得

企業結合を行った主な理由

当社は、VISION「変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの『価値』に変える」の実現に向け、最先端の「価値」駆動型ライフサイエンス・イノベーションを目指しています。研究開発戦略であるFocus Areaアプローチとして、多面的な視点でバイオロジーとモダリティ/テクノロジーの独自の組み合わせを見出し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます。現在、「再生と視力の維持・回復」を含む5つのPrimary Focusを特定し、優先的に経営資源を投下しています。Iveric Bio社買収は、当社が掲げる重点領域における製品ポートフォリオ構築のための重要なステップとなります。

Iveric Bio社は、眼科領域において新規治療薬の研究開発に注力しています。地図状萎縮 (Geographic Atrophy : GA) を伴う加齢黄斑変性 (Age-related Macular Degeneration : AMD) の治療薬として開発中の IZERVAY (一般名 : avacincaptad pegol、以下「ACP」) 硝子体内注射液について、米国食品医薬品局 (FDA) から2023年8月4日 (現地時間) に承認を取得しました。

補体因子C5阻害剤であるACPは、GAを伴うAMDの治療薬候補であり、十分な治療を受けていない多くの患者さんに価値を提供できる可能性があります。ACPは、これまでに2つのピボタル試験 (GATHER1, 2試験) において、主要評価項目 (GAの進行抑制) を統計学的に有意に達成し、この適応症についてFDAからブレイクスルーセラピー指定 (Breakthrough Therapy Designation) を受けています。

Iveric Bio社のリードプログラムであるACPを獲得することが、当社の経営計画2021で定める2025年度までの売上目標に貢献するだけでなく、ACPは、fezolinetantやPADCEVとともに収益を生み出す柱として、2020年代後半に控えるXTANDIの独占期間満了による売上減少を補うことが期待されています。

また、Iveric Bio社の買収により、当社は、コマーシャルチームや、専門家との広範なネットワーク、医療機関とのパートナーシップを含む、眼科領域における基盤ケイパビリティを獲得します。このようなケイパビリティ獲得を通じて、当社は、Primary Focus「再生と視力の維持・回復」における目標達成に向け、臨床開発・市場アクセスを加速させていきます。

(2) 取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値

(単位：百万円)

	第2四半期連結会計期間 末の暫定的な公正価値	その後の修正	修正後の公正価値
無形資産	884,331	-	884,331
FVTOCIの金融資産（負債性）	9,986	-	9,986
現金及び現金同等物	44,649	-	44,649
その他の資産	2,607	-	2,607
繰延税金負債	149,046	-	149,046
短期借入金	15,079	-	15,079
その他の負債	7,984	-	7,984
取得資産及び引受負債の 公正価値（純額）	769,464	-	769,464
ベースス・アジャストメント	5,584	-	5,584
のれん	35,236	4,122	39,358
合計	799,116	4,122	803,238
支払対価の公正価値の合計	799,116	4,122	803,238

当第3四半期連結会計期間において、当該企業結合の取得日現在における支払対価の公正価値の測定に関して、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、上記のとおり、支払対価の暫定的な公正価値を修正しています。なお、取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値の測定は継続中であるため、企業結合の当初の会計処理は完了していません。

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

(3) キャッシュ・フロー情報

	金額（単位：百万円）
支払対価の公正価値の合計	803,238
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	44,649
ベースス・アジャストメント	5,584
子会社の取得による支出	764,173

上記のほか、Iveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,128百万円を企業結合とは別個に認識し、要約四半期連結純損益計算書の「その他の費用」に計上しています。

(4) 取得関連費用

3,581百万円

取得関連費用は、要約四半期連結純損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれています。

(5) 要約四半期連結純損益計算書に与える影響

当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書で認識されている取得日以降の被取得企業の税引前四半期利益（は損失）

85,660百万円

(注) 上記には、企業結合とは別個に認識されたIveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,128百万円が含まれています。

企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書の税引前四半期利益に与える影響額（は損失）（非監査情報）

52,284百万円

(注) この影響額は、Iveric Bio社の2023年4月1日から取得日までの業績に基づいて算定しています。

12. 後発事象

該当事項はありません。

2 【その他】

中間配当

2023年11月1日開催の取締役会において、第19期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）の中間配当に関し、会社法第454条第5項及び当社定款第35条第2項の規定に基づき、次のとおり金銭により支払う旨を決議しています。

1．株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき 35円

配当金総額 63,313百万円（役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の所有する当社株式に対する配当金562百万円を含む）

2．中間配当がその効力を生ずる日（支払開始日）

2023年12月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年2月6日

アステラス製薬株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	古	杉	裕	亮
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小	山	晃	平
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	今	野	光	晴

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアステラス製薬株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）に係る要約四半期連結財務諸表、すなわち、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結純損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び要約四半期連結財務諸表注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の要約四半期連結財務諸表が、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条により規定された国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して、アステラス製薬株式会社及び連結子会社の2023年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「要約四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

要約四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

要約四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき要約四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、国際会計基準第1号「財務諸表の表示」第4項に基づき、継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

要約四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、要約四半期連結財務諸表において、国際会計基準第1号「財務諸表の表示」第4項に基づき、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において要約四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する要約四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、要約四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・要約四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた要約四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに要約四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、要約四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。